

第08回

- 講演者: 丹羽 美由紀 氏 (奈良女子大理学部)
 - 題目: 重みつきローレンツ空間における補間定理
 - 日時: 平成 15年 11月 10日(月) 11:00 ~ 12:00
 - 場所: 数学科セミナー室 4号館 3階

補間定理とは、2つの不等式から無数の不等式を得る事ができる定理である。Riesz-Thorin の定理から始まり、Marcinkiewicz の定理、Stein-Weiss の定理、Calderon-Hunt の定理と結果が拡張されていった。Riesz-Thorin の定理は、 L_p 空間が舞台であったのに対し、Stein-Weiss の定理では、重みつき L_p 空間が舞台となる。一方、Calderon-Hunt の定理は、 L_p 空間を拡張したローレンツ空間 L_{pq} が舞台となる。そこで、それらを統合した、重みつきローレンツ空間においても、補間定理の成立が予想されるのは自然であるが、Ferreyra が反例を示した。そこで我々は、何らかの方法で肯定的な結果を得ることを目標としてきた。講演では歴史的背景と得られた結果を紹介したい。

From:
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2003/008>

Last update: **2017/11/27 11:02**

